

岡山市立岡輝中学校

協同学習

～聴く 伝える つながる～



教員の思い…
それは…

2005年(平成17年)6月27日 月曜日

山陽新聞 夕刊 学びの共同体

意見出し合い切磋琢磨



次世代への贈りもの
育つて



従来の
価値を
どう
見直し
ますか？

協同学習して

全教員・全教科で、協同学習に取り組む

問い掛けは
柔らかく

授業を改革することで子どもを変える！

卒業生より

協同学習の岡輝で学んでよかったよ♡

- 分からないところを気軽にきけて、教えてもらえる。
- 友達に教えることで自分もより深く理解できたと思う。
- 仲良くなりやすいし、
友達が教えてくれてわかりやすかったよ。
- より勉強が楽しくなりました。
- クラスの感じがよくなったよ。



卒業生より

こうすればいいんだよ♡

○分からなければどんどんきこう。

○先生や友達の話をしっかり聴こう。

○自分の意見を伝えよう。

○めんどくさくても机をくっつけた方がいいよ。

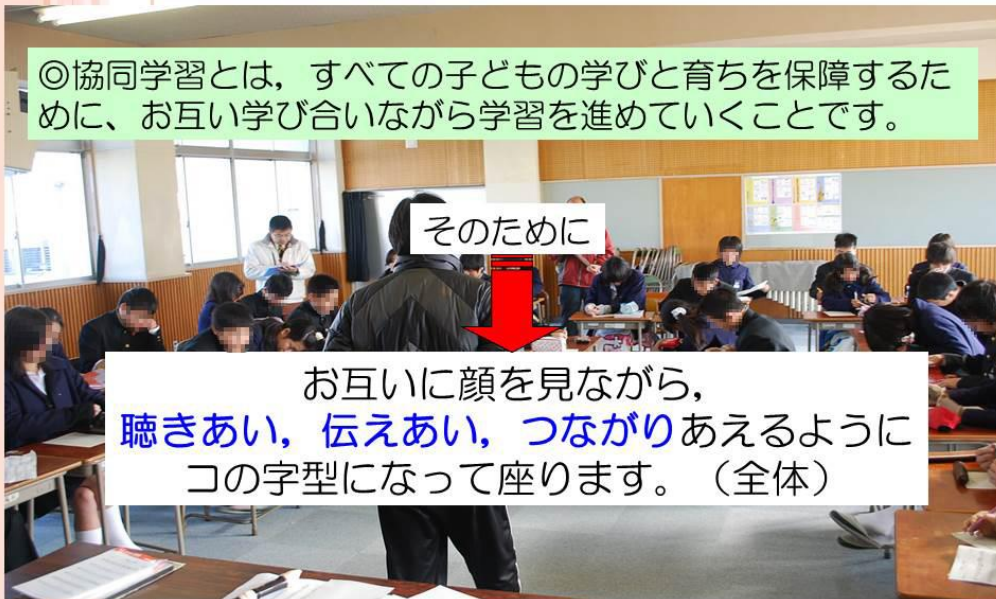


1. 協同学習とは

◎協同学習とは、すべての子どもの学びと育ちを保障するために、お互い学び合いながら学習を進めていくことです。

そのために

お互いに顔を見ながら、
聴きあい、伝えあい、つながりあえるように
この字型になって座ります。（全体）



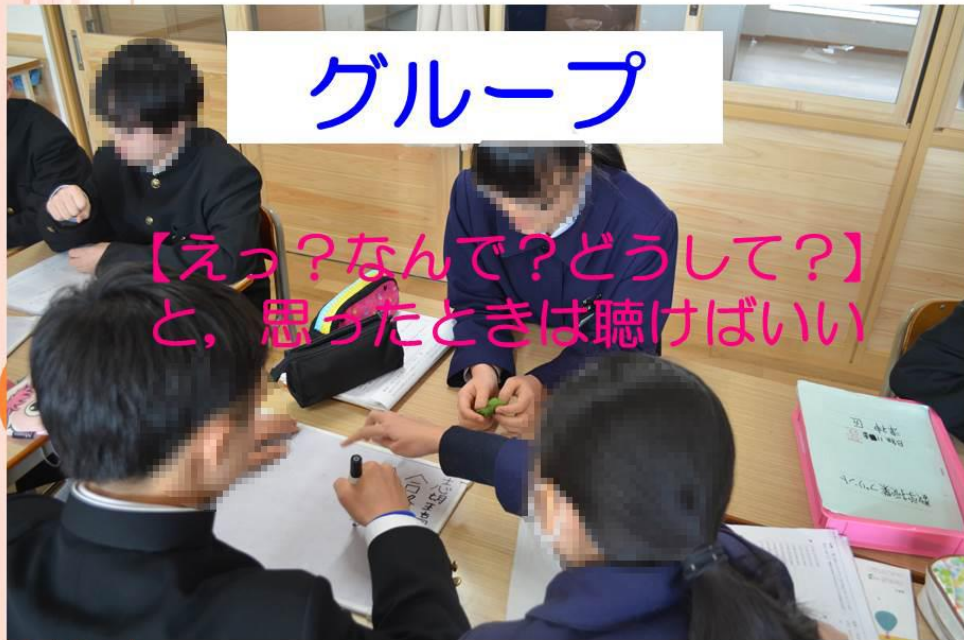
コの字型

みんなの顔が
見える



グループ

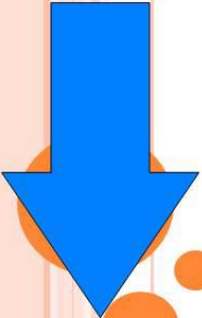
【えっ？なんで？どうして？】
と、思ったときは聴けばいい



2. なぜ協同学習？

みんなと一緒に
学習することで・・・



- 
- ①わからないことは『わからない』と言える
 - ②わからないことは『教えて』と言える
 - ③考えが深まる
 - ④難しい課題にはみんなで挑戦できる

一人ひとりの学びを
より高いレベルにできる

3. 協同学習の授業の流れ（教師）

1 本時の「めあて」の提示



2 共有課題の提示→グループでの学び→全体での共有

3 ジャンプ課題の提示→グループでの学び

→全体での共有

4. 教師が心がけること

- 授業の最初を大切にし、**5分**でグループを
- 教師自身が**テンション**を下げしっとり感を
- 子どもをつなぐため、
立ち位置を考え、動きすぎない



◇協同学習のポイント

『学び合う』関係 **≠** 『教え合う』関係



『聴き合う』関係



5. 協同学習の授業の流れ（生徒）

1 自分で考えてみよう

○何をすればいいの？まずは、課題の内容を知ろう。



○やってみよう！できなくてもいいから。できるところまで。

○どこがわからない？どこからわからなくなった？
自分が何に困っているのか知ろう。



2 グループで人の考えを聴いてみよう

○グループの中で学びを見よう！見せよう！



3 グループで人の考えを聴きあおう

- 「困ったとき」「分からないとき」人に聴こう。
- 新しい考えや、他の考えはないか、人の話を聴こう。



4 自分が感じたこと, グループの中で出た意見を語りあおう

○自分が感じたことを人に伝えよう。

○分かったこと、できたことを言葉に出して伝えよう。



4. 生徒会スローガン

岡輝流学び改革

～みんなとつながれ協同学習～

今、多くの学校で協同学習が行われるようになって
いるが、岡輝は岡輝らしい協同学習を進めていこう！
そのために、お互いに意見を聴き合い、出し合い、
そして学び合うことで、よりよい協同学習を自分たち
の手で築き上げていこう！

5. 最後に

◆人と **学び** つながろう

☆人の『**顔を見て**』つながろう

☆人の『**言葉を聴いて**』つながろう

☆人に『**語りかけて**』つながろう

